

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

### 試験番号

7 B 7 7 7 G

### 試験方法

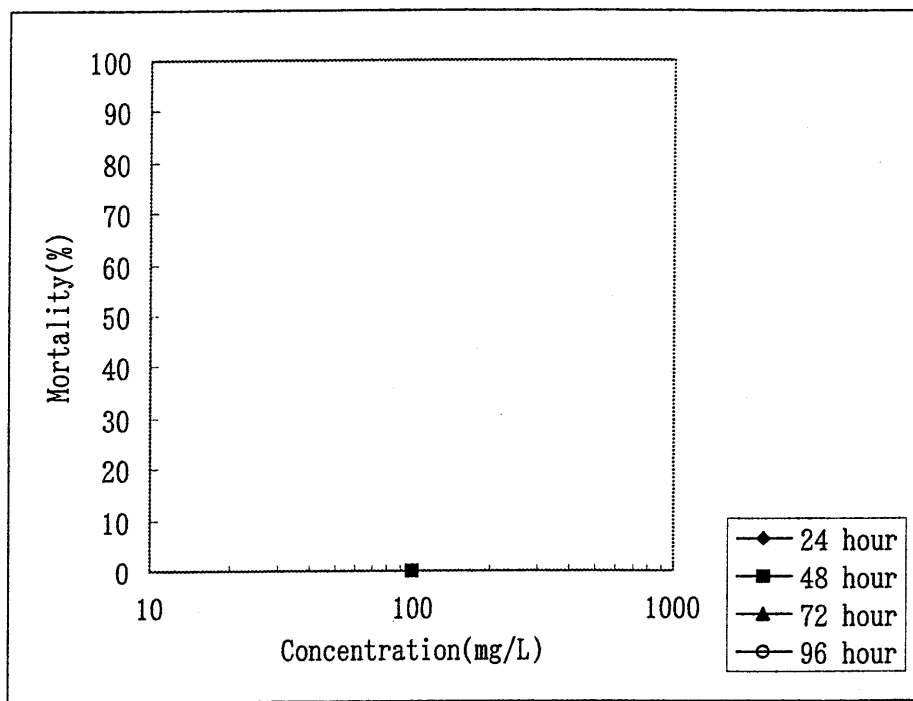
本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質： 2-ヒドロキシメチル-2-メチル-1,3-プロパンジオール
- 2)暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 96時間
- 5)試験濃度 (設定値)： 対照区および100mg/L(限度試験)
- 6)試験液量： 5.0L
- 7)連数： 1 容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)試験温度： 24±1℃
- 10)照明： 16時間明/8時間暗
- 11)被験物質の分析： GC法

### 結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度：測定濃度の設定濃度に対する割合は±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2)96 時間の半数致死濃度 (LC50)： >100mg/L

Figure 1 Concentration-Response Curve  
Mortality in Orange killifish



## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

フタル酸ジトリデシルの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

### 試験番号

7 B 7 2 5 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201 「藻類生長阻害試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: フタル酸ジトリデシル
- 2) 暴露方式: 止水式, 振とう培養 (100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度 (設定値): 対照区, 助剤対照区, 50.0 mg/L (分散可能最大濃度)  
(助剤濃度: 100mg/L, HCO-40使用)
- 6) 試験液量: 100 mL (OECD培地)
- 7) 連数: 3 容器/濃度区
- 8) 初期細胞濃度:  $1 \times 10^4$  cells/mL
- 9) 試験温度:  $23 \pm 2$  °C
- 10) 照明: 4000~5000 lux (連続照明)
- 11) 被験物質の分析: HPLC法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の濃度は開始時において設定値の±20%以内であったため、下記の生長阻害濃度の算出には設定値を採用した。なお、暴露72時間後の設定値に対する割合は92%であった。

### 2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50(0-72) : >50.0 mg/L

無影響濃度 NOECb(0-72) : >50.0 mg/L

### 3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50(24-48) : >50.0 mg/L

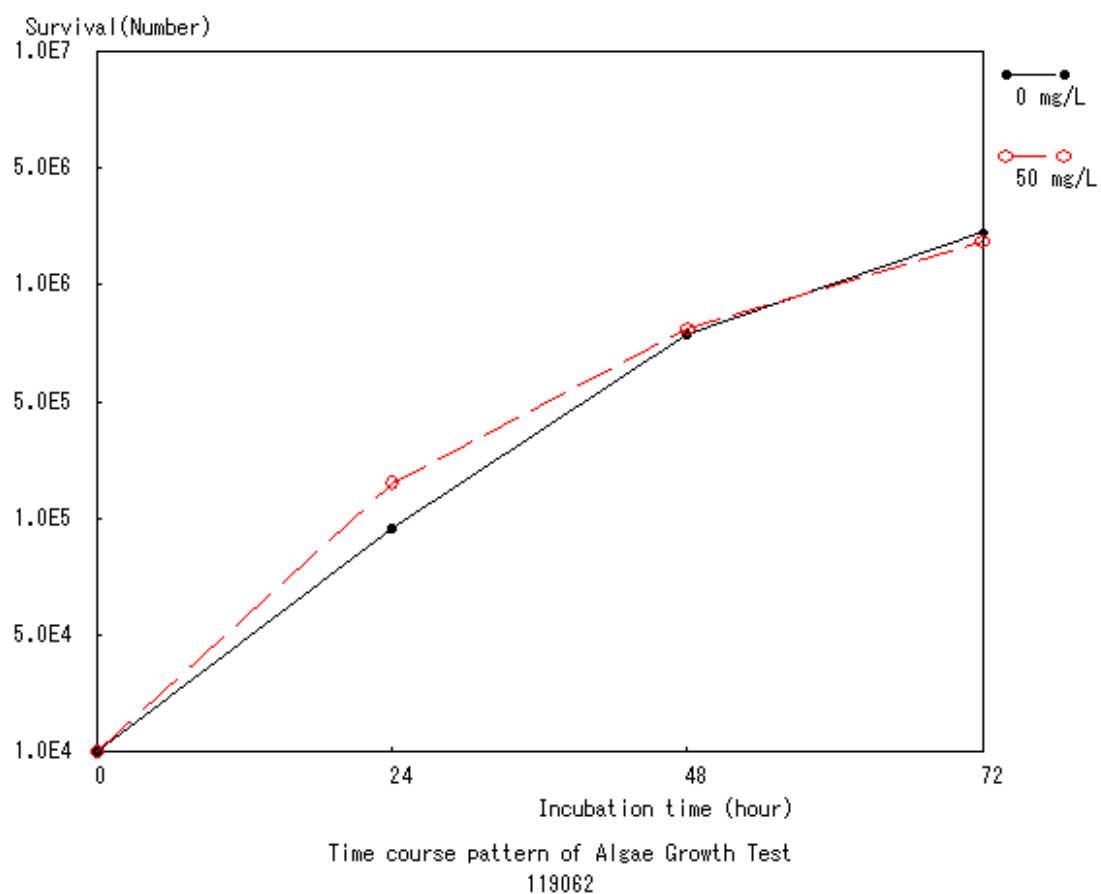
無影響濃度 NOECr(24-48) : >50.0 mg/L

50%生長阻害濃度 ErC50(24-72) : >50.0 mg/L

無影響濃度 NOECr(24-72) : >50.0 mg/L

ジトリデシルフタレート (Cas.119-06-2)

① 生長曲線



② 毒性値

- ・0-72hErC<sub>50</sub>: >50 mg/L
- ・0-72hNOECr: >50 mg/L

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

フタル酸ジトリデシルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

### 試験番号

7 B 7 4 3 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： フタル酸ジトリデシル
- 2) 暴露方式： 止水式
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区，助剤対照区および 50 mg/L  
(助剤濃度：100 mg/L, HCO-40使用)
- 6) 試験液量： 1 容器(連) に付き 100 mL
- 7) 連数： 4 容器(連) / 濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭/濃度区 (1 連に付き 5 頭)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 被験物質の分析： HPLC法